



学しゅうがよくわかるようにしていくために、タブレットをじょうずにつかっていくことが大切です。タブレットはみなさんの学しゅうにやく立てるためのど
うぐです。

しかし、大へんべんりなどうぐですが、心ぱいなこともたくさんあります。その
のため「タブレットのルール」をつくりました。みんなでこのルールをまもり、
タブレットを「あんしん・あんぜん・かいてき」につかっていきましょう。



1 目てき

学校でかし出すタブレットは、学しゅうかつどうのためにつかうことが目てきです。学校での学しゅう、いえでの学しゅうにつかいます。

学校をそつぎょう・てん校するときにはタブレットはかえします。また、かえされたタブレットはらい年どのしん入生がつかいます。大じにつかいましょう。

2 タブレットのあつかいかた

(1) タブレットをていねいにあつかいましょう。

- ①もちほこぶときは、りょう手ではこびましよう。
- ②なげたり、おとしたり、ぶつけたりしませぬ。
- ③タブレットをそうさしながら、あるいたりはしったりしませぬ。
- ④タブレットの上にものをおいたり、タブレットをふんだり、じめんにおいたりしませぬ。
- ⑤タブレットのシールをかってにはがしたり、はったりしませぬ。
- ⑥タブレットにらくがきをしたりしませぬ。

(2) タブレットはねつ、水、じ石にとてもよわいきかいです。

- ①たいようのひかりがあたるところにはおきませぬ。
- ②タブレットをぬれた手でさわったり、水であらったりしませぬ。
- ③たべたりのんだりしながら、タブレットはつかいませぬ。

④タブレットにじ石をちかづけません。

3 タブレットつかうときのルール

(1) じゅぎょう中は先生のはなしをよくきいてつかいましょう。

①学しゅうにかんけいのないものは見たり、りようしたりしません。

②タブレットでつくったものやインターネットからとりこんだしゃしんなどは、学しゅうでつかうものをほぞんします。

③こどもだけで、「チームズ」の「会ぎ」はつかいけません。つかうときは、かならず先生がいないといけません。

(2) けんこうにきをつけてつかいましょう。

①タブレットをつかうときは、正しいしせいでがめんをかおにちかづけすぎないようにきをつけましょう。

②30ぷんに一どはとおくのけしきを見て、目をやすめましょう。

(3) トラブルなくあんぜんにつかいましょう。

①自ぶんで、アプリをダウンロードしたりインストールしたりしません。

②自ぶんのタブレットをほかの人にかしたり、つかわせたりしません。

③自ぶんのユーザーアイディーやパスワードは、ほかの人にはおしえません。

④かってに、だれかのしゃしんをとったり、音やえいぞうをとったりしません。ともだちでもいけません。

⑤自ぶんやほかの人の名まえ、じゅうしょ、でんわばんごう、しゃしんやど
うが（かおやだれなのかわかってしまうもの）は、ぜったいにインターネ
ットじょうにだしてはいけません。

⑥かってに、ほかの人のさくひんをつかいません。

※インターネットのものもおなじです。かってにろくがしたりダウンロード
したりしない。

⑦インターネットじょうでも、あいてを思いやり、きずつけたり、あいてが
いやだなと思うことをしたりしないようにしましょう。

(4) こしょうがあったら、すぐにしらせましょう。

①タブレットのシステムをしらべたり、セキュリティをやぶったりしません。

②もし、ふしんなサイトに入ってしまったときは、すぐにかめんをとじ、い
えの人や先生にしらせましょう。

③タブレットやインターネットがつかえなくなって、もとにもどらないとき
はいえの人や先生にしらせましょう。

※このかみはすてずに、いえの中の見えるところにはったりおいたりしておきま
しょう。